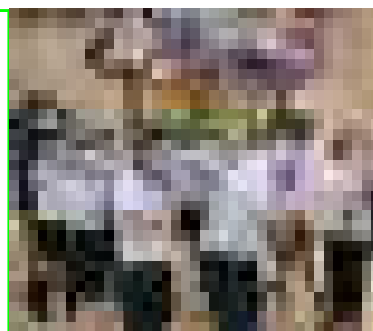




匝瑳市立吉田小学校 このてかしわ

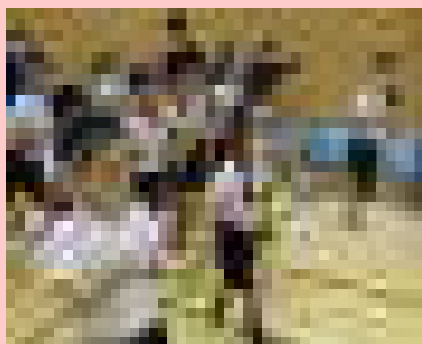
学校だより

No.6 令和5年10月23日(月)

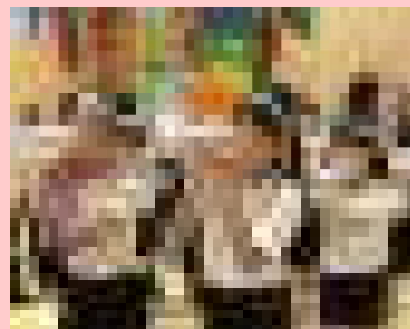


♪ あんりゃー ほしい！

10月15日(日)に予定されていた、よかっぺ祭りの一部門である「たるみこしパレード」に吉田っ子たちも参加予定していましたが、雨天のためパレードは中止となり、本校の体育館で「たるみこし集会」を実施しました。

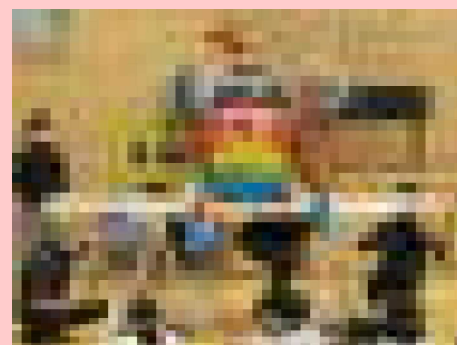


八辺お囃子連の皆様が演奏する笛や太鼓、すりがねの音が体育館に響き渡りました。和楽器の音色に全身を包まれまた吉田っ子たちは、気分も最高潮に達し、おみこしを上下に揺さぶりながら、「あんりゃーほしい♪」と大声を發し、乱舞していました。下級生が鳴らす「チャキチャキ」の音も場を盛り上げ、後半では、子ども達のかけ声の方が和楽器より勝っているようでした。



た。

予定されていた「たるみこしパレード」は、八日市場小学校を出発・終点とし、旧多田屋前を通る約1.5kmの道のりを90分かけて練り歩くものです。4～6年生が中心となっておみこしを担ぎますが、4年前の吉田小の児童数と比べると20人も少なく、時間と距離を考えると体力的にも危ぶまれました。そこで、3年生平山あいさんのお父さんである平山剛資(前PTA会長)さんに相談したところ、みこしを支える馬(うま)と山車(だし)を製作してくださいました。これにより、上手に山車を使うことで少ない児童でも練り歩くことができるようになりました。



今回の行事では、八辺お囃子連の皆様と会長の越川由雄さん、青少年相談員の皆様、PTA役員の皆様、平山剛資さんなど多くの方々に支えられて実施することができましたことに改めて感謝申し上げます。また、悪天候の中、ご来校いただきました保護者・地域の皆様ありがとうございました。

「粒すけ」美味しかったです！

J Aちばみどりさんより、千葉県奨励品種である新米の「粒すけ」を2日分寄附していただきました。10月2日（月）と5日（木）小・中学校の給食で提供されました。

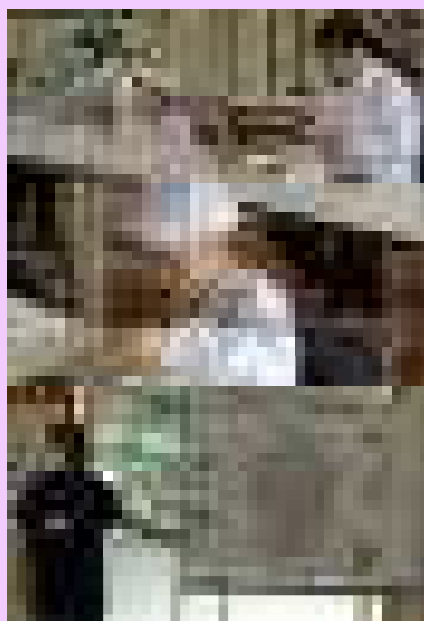
本校では、2日（月）に宮内市長さんや二村教育長さん、秘書課の小長谷さん方が来校され、ランチルームにて、1・2年生の吉田っ子達と一緒に試食されました。

給食センターの永井栄養士さんから「粒すけ」について説明があり、災害に強く、稲穂が倒れない品種にする



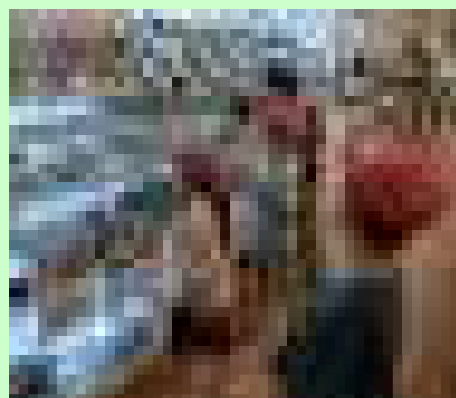
ために13年費やしたこと、こしひかりよりも粒が大きく、甘みが高いことなどを話していただきました。

子ども達はふっくらとして甘みがあり、香り豊かな新米に舌鼓を打ちました。



校外学習（3年生）

9月28日（水）3年生は、社会科の学習として、スーパーセイミヤ多古店とふれあいパーク八日市場に行きました。セイミヤでは、買い物ミッションとお客さんへのインタビューを行いました。買い物の難しさや価格を見積もることの大切さを学ぶと共に、レジ打ちの仕事体験もすることができました。



ふれあいパーク八日市場では、農家の人の苦勞ややり甲斐、直売所の魅力の話を聞くことができました。「50年以上やっても日々勉強、お客さんとのやりとりが明日への活力になる」との話が印象的でした。

今回の社会科見学で、見て触れて感じたことをもとに報告文を書いていく予定です。

校長室より

10月6日（金）前期修了式の際、各学年の代表児童から前期頑張ったことを披露してくれました。その中で、3年生の女子児童が「友達の良いところを見つける」との発言がありました。他人の欠点は目に留まりやすいですが、良い点は視野に入りづらいものです。子どもにかける言葉には、「呪いの言葉」があるそうです。「ちゃんとしなさい、はやくしなさい、どうしてできないの・・・等」つい言ってしまいがちですね。「うまいくよ、だいじょぶだよ等」の「魔法の言葉」をかけることで子どもが「やる気」と「勇気」と「自信」を持つそうです。